

東海の3生協と事業連合の フードバンク活動状況 報告



未来につながるあんしん生活

2018年 1月 18日
生活協同組合連合会
東海コープ事業連合

東海3生協と事業連合のご紹介

- 東海3生協（コープぎふ、コープあいち、コープみえ）は、90万人の組合員のみなさんに宅配や店舗で、



安全・安心な商品を提供するとともに、地域の方々と一緒に、平和・環境・福祉の活動などにも取り組み、誰もがくらしやすい社会を目指して活動しています。

- 東海コープ事業連合は、東海3生協が組合員の声に応え、願いを実現するために、商品部、企画部、物流部、システム部などの機能を担い、3生協と一緒に事業や活動をすすめています。

東海3生協と事業連合のご紹介

● 事業の状況

(2017.3.20)

	コープぎふ	コープあいち	コープみえ
所在地	岐阜県各務原市	名古屋市名東区	三重県津市
組合員数	23.3万人	46.5万人	18.5万人
総事業高	264.9億円	580.2億円	205.7億円
配送支所・センター数	9支所	15センター	9センター
店舗数	6店舗	19店舗	2店舗
福祉事業所	3事業所	32事業所	1事業所
事業内容	供給事業(宅配、店舗)、福祉・介護事業、共済事業、 夕食宅配、くらしのサービス(葬祭・住まい・旅行・チケット・保 険など)		

生協 宅配事業の仕組み

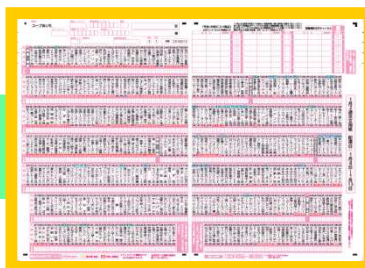
- 毎週、同じ曜日にお伺いし、商品をお届けしながら、次週の注文をいただき、次々週のカatalogをお渡しします。



カタログをお渡し



注文



商品のお届け



生協 宅配事業の仕組み

- 宅配事業は、毎週30万人の組合員に利用（注文）をいただいています。
- 一般食品、冷蔵食品、冷凍食品、パン、農産品、生活雑貨のカテゴリーを4つのセットセンターで組合員別に仕分けています。



▲
冷蔵
冷凍

一般食品
パン ▶



雑貨
冷蔵 ▶

農産 ▼



セカンドハーベスト名古屋さまに提供している商品

- 商品はケース(箱)単位で入荷します
- 仕分け後にケースの端数が残ります
- 端数は次に同じ商品を企画するまで在庫します。

在庫中に、賞味期間が3分の1を切ったり、パッケージが変わるなどお届け基準を外れる商品があります。

品質に問題がなくてもお届けしない商品を、2HNさまに提供しています。

セカンドハーベスト名古屋さまのご紹介

- 特定非営利活動法人セカンドハーベスト名古屋
(認定NPO法人)(省略:2HN)
- 2009年 NPO法人格を取得して活動を開始
- 2014年 行政と連携した個人支援活動開始
名古屋市社会福祉協議会との連携を開始
- 2015年 名古屋市から「認定NPO法人」認可
- 2017年 東海3県にある自治体や社会福祉協議会にある101の相談窓口と連携
- 約30名のボランティアの皆さんが中心となって活動されています

セカンドハーベスト名古屋さまのご紹介

● 活動概要



提供

企業からの
寄付食品

団体支援

200団体10,000人
に提供

- ・母子生活支援施設
- ・ホームレス支援団体
- ・児童養護施設
- ・障害者自立支援施設



個人支援

3,200世帯へ
4,600箱を送付

- ・自立支援相談窓口
- ・社会福祉協議会
- ・市役所

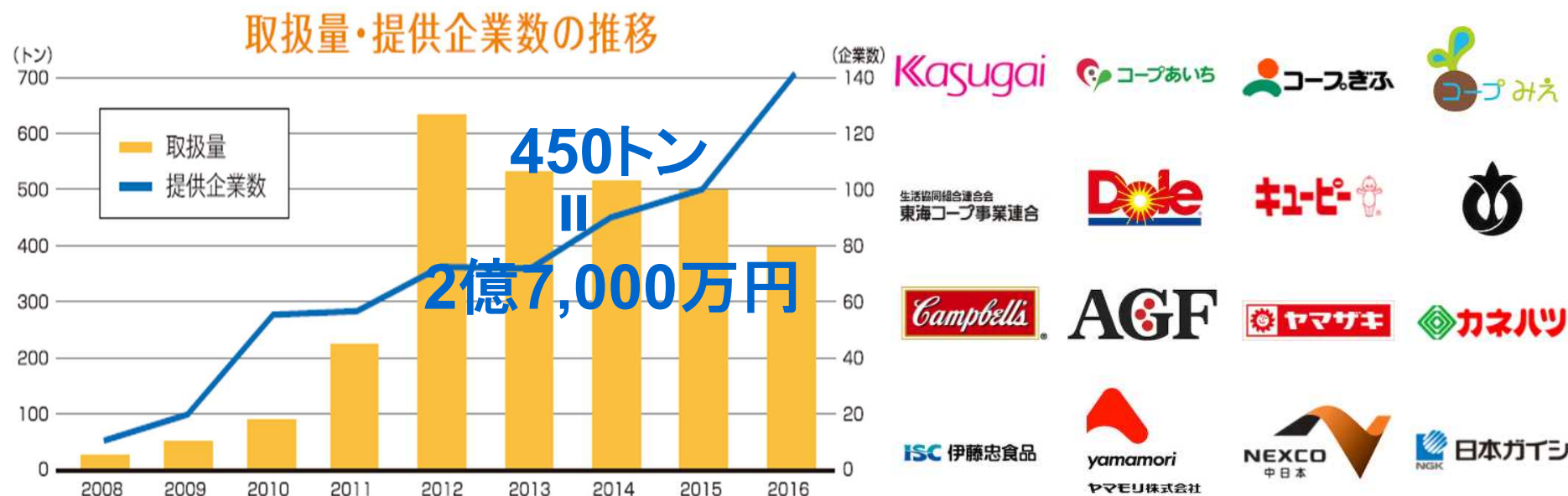


セカンドハーベスト名古屋さまのご紹介

活動概要

企業からの寄付食品を、東海地方の団体、個人に提供されています。

2017年度は142企業からの450トンの寄付食品を200団体へ提供されました。



セカンドハーベスト名古屋さまとのつながり

- 2015年1月に、セカンドハーベスト名古屋さま（以下、2HN）より、「もう何日も食べていない」「所持金が数十円しかない」「年金暮らしだが医療費がかかって食品を買えない」などの生活困窮者は東海の地域にも多くみえます。そのような皆さんを少しでも気持ちを豊かにできるよう生協の協力を」というお手紙をいただきました。
- 生協としてどのような協力ができるのか、2HNさまと相談を重ね、同年5月から、3生協（東海コープ）より一般食品とパンの提供を開始しました。

生協からの提供状況

- 2016年6月からは、冷蔵商品・冷凍商品の提供を開始しました。



2HN事務所
での仕分け

生協セットセンター
からの引き取り



生協からの提供状況

- 2017年 1-12月の1年間で、延べ17000種類、11万個、36トンの商品を提供させていただきました。

カテゴリー	個数	重量
一般食品	41,026	12,240kg
パン	28,601	9,647kg
冷凍食品	13,687	4,227kg
冷蔵食品	28,702	10,191kg
合計	112,016	36,305kg

セカンドハーベスト名古屋さまでの活用状況

- 4,500名の個人の方に7.1トンの商品を、200団体に、9,200回・29.2トンの商品を提供し必要としている方々に食べていただきました。

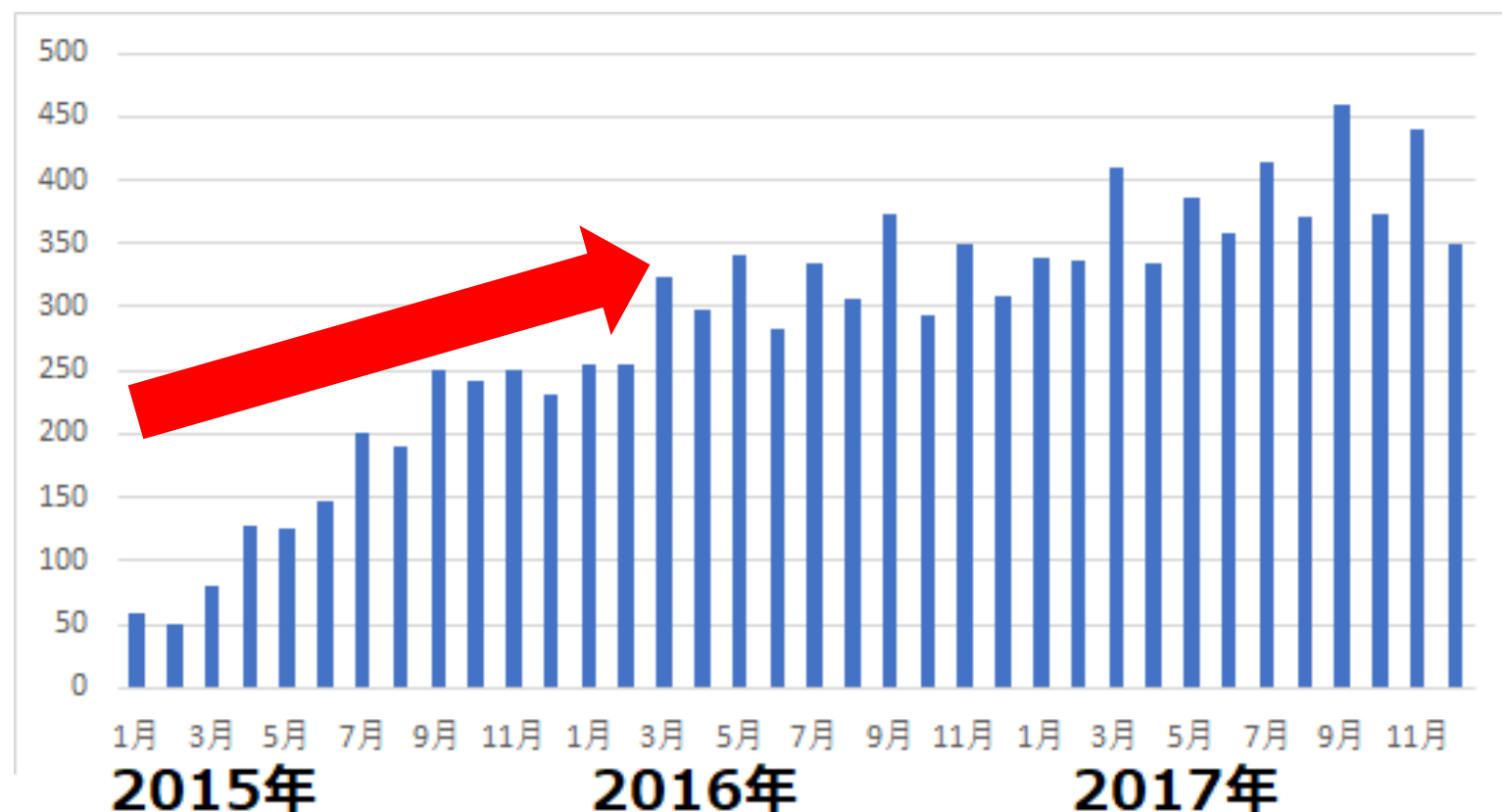
	カテゴリー	提供件数	重量
個人支援	一般食品	4,580	7,118kg

	カテゴリー	提供回数	重量
団体支援	一般食品	1,033	5,123kg
	パン	1,403	9,647kg
	冷凍食品	1,072	4,227kg
	冷蔵食品	1,171	10,191kg
合計		9,259	29,187kg

セカンドハーベスト名古屋さまでの活用状況

● 個人支援

提供し始めた 2015年5月は125家庭分でしたが、
2017年12月は400家庭分と増えています。



セカンドハーベスト名古屋さまでの活用状況

- 2HNさまでは、支援された方の声を返信用はがきで集約され、より良い支援につなげています。

・箱いっぱい色々な食材を詰めていただき、本当にありがとうございます。とても助かります。(29才 男性 夫婦、子3人)

・皆様から支援いただいた、たくさんの食品、とてもうれしかったです。ごはんお腹いっぱい食べて感謝します。おやつなども入っており、子供も喜んでいました。ありがとうございました。(55才 女性 母子)

・すごく助かりました。いろんな食材にしてもそれ1つでできるようなのが作りやすく1才半の子供がいるんですが、子供にも与えられるものが多くありがたかったです。ありがとうございます。(25才 男性 失業 夫婦、子1人)

・主食、副食、おやつとバラエティに富んでいて感動しました。本当に助かります。心が(気持ち)あたたかくなりました。(58才 女性 独身 ケガで働けない)

セカンドハーベスト名古屋さまでの活用状況

● 団体支援

児童養護施設



・節約できた食費を子ども達の楽しみに使えます。

セカンドハーベスト名古屋さまでの活用状況

● 団体支援 ホームレス支援団体



・ホームレス状態の方々の生活を食で支えられます。

生協はこれからもフードバンク活動を応援します

コプぎふでは、
フードバンク活動
を広報紙で組合
員にお知らせして
います。

コプ福祉基金を
フードバンクぎふさ
まの食品保管用冷
凍庫の購入に活用
していただきました。



生協はこれからもフードバンク活動を応援します

- コープあいちでは、組合員からのフードバンクへの募金やコープの福祉基金を、**2HNさま**に活用いただきました。

- 福祉基金の助成金は車両の購入に使われ、食品の引き取りが増えることにつながりました。



コープあいちはフードバンク活動に協力しています

組合員の財産である商品。しかし、お約束しているお届け基準をはずれて、処分せざるを得ない商品も少なからずあります。処分していた商品をさまざまな事情で生活に行き詰まったご家庭のくらしに役立て、安心してくらしを地域づくりのために、コープあいちはNPO法人セカンドハーベスト名古屋と協力して、フードバンク活動に取り組んでいます。

フードバンクとは？

期限が近いなどの理由にもかかわらず捨てられ「ロス」といいます。約10万トンも発生している方々もいます。余った食品を各福祉団体や生活しています。

食料ロス年間	日本の米の生産量年間
約800万トン	約800万トン

セカンドハーベスト名古屋の活動は？

北区のNPO法人で、2008年からフードバンク活動に取り組んで2014年度は福祉施設やホームレス支援団体など愛知・岐阜・三重県3カ所に食品を無償で配布。また、行政からの依頼で困難世帯への食料もござっており、米や缶詰など1箱(約10キロ分)を1世帯あたりまで提供しています。コープあいちが提供する商品もおもに個人でお届けされます。

1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R
44	36	52	97	105	124	188

4月より社会福祉協議会との連携で、生活に行き詰まったおのれおのれを出しを停止させることができるようになってきました。

認定特定非営利活動法人 セカンドハーベスト名古屋

コープあいち キャンペーン 暮らしの

生活協同組合 コープあいち

生協はこれからもフードバンク活動を応援します

【特集】 生協の社会的な役割を「つながり・たすけあい・協同の心」で拡げます

生活困窮者支援の活動を通じた たすけあい、支えあう地域づくり

コープみえは「つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし」の基本理念のもと、生協としての社会的責任を果たし、地域づくりに積極的に参加してこうとしています。地域社会の中で人と人がつながり、お互いがたすけあい、協同して、支えあう活動を行政・地域の諸団体のみなさん、そして組合員のみなさんとすすめていきます。

コープみえは市町の社会福祉協議会がすすめる 生活困窮者支援の活動に加わり、お手伝いをすすめていきます

伊勢市社会福祉協議会のすすめる
「伊勢市 支え合い・助け合い 米 支援事業」への参加

2017年8月、コープみえは伊勢市社会福祉協議会（以下、伊勢市社協）と「伊勢市 支え合い・助け合い 米 支援事業」の協定を締結しました。この事業は、現在の経済状況のなか、十分な収入がなく食糧（注1）の確保も難しく、生活に困窮している伊勢市内の方を

コープみえは、地元の人たちを地元の人たちが
支援する活動のお手伝いをしています

コープみえ伊勢配送センターでは、伊勢市社協のお米の募集を呼びかけるチラシ配布のお手伝いや、注文の間違いなどで配送されなかった在庫品のうち、品質の良い商品が無償で提供しています。

地域社会の力が3トンもの
支援になりました

伊勢市社会福祉協議会
地域福祉課
竹内 恵奈さん

支援米を受け取られた方から「このお米はどなたから？…」とよく尋ねられます。「伊勢市民の方々からですよ」とお伝えすると、「地元の方々に支えられていることを知り感謝です」などの感謝の言葉もお聞きしています。また、お米をった方からは「用途がはっきりが地元の方々の役に立つとく思います」と仰っていただき、えあいたいというお気持ちが、根付いていることを改めて感じ

コープみえは、**社協**と食糧支援を提携しています。

支援米を受け取りに来られる方々は、高齢者層で

フードドライブ活動を広報紙で組合員にお知らせしています。

コープみえへの期待



大変多くのお米をいただいていた一方で、支援事業そのものを認知でない方もおみえでしたし、支援を求める声を上げられない方々もおみえになると考えています。生協さんは伊勢市にも組合員さんがたくさんみえて、組合員さんどうしのつながりをお待ちです。ぜひ、組合員さんからの口コミやちょっとした会話などを通じて、私たちの事業についてお伝えいただければありがたいと思います。これからもよろしくお願ひします。

私たちが考えていきたいこと

地域のコミュニティを大切に育んでいきたいと思います

生活困窮者支援の活動について、伊勢市社協の竹内さんから「単に支援の物品を渡すことで完結するのではなく、生活に困窮されている方々の自立と地域で支えあう地域づくりが大切なことです」と伺いました。

地域で支えあう地域づくりは、地域のコミュニティを育むことで、様々な人たちが支えあえる方法が生まれていくように思います。

地域のコミュニティづくりに
コープみえを役立ててみませんか

コープみえは、伊勢市社協に続き、鈴鹿市社会福祉協議会と「生活困窮者の自立支援事業の連携に関する協定」を締結しました（2017年11月）。これまでも、地域の高齢者の見守り活動への参加（県内6市町）、フードバンク事業に取り組む認定NPO法人への食品の提供など、地域とのつながりを深める活動をすすめてきています。この他にコープみえでは、コープカフェ、グループ活動やテーマ活動など組合員さんが参加できる活動を通じ地域のコミュニティづくりにお役立てできます。「つながり・たすけあい・協同の心」を育む輪の中に一人でも多くの組合員さんが関わるといいですね。



高齢者づくり「コープカフェ」の取り組み



高齢者の見守り



地域とのつながり
「伊勢市ボランティアセンター フェスティバル」

生協はこれからもフードバンク活動を応援します

- セットセンターでは冷蔵食品を全量提供できるよう2HNさまと相談をすすめていきます。
- 野菜・果物を仕分けする農産セットセンターで処分する青果品の提供も相談し始めています。



生協基準で
お届けしない
バナナ



ありがとうございました。



ピーサク
くん

たまねちゃん

マツくん

れんげファミリー



© やなせたかし

ほこちゃん



みえっぴい